

自分の命は自分で守る！ <1月15（火）避難訓練>

今年度3回目の避難訓練を行いました。「休み時間に地震が発生したときに自主的に危険を回避し避難できる」ことをねらいに行いました。子どもたちは、事前に避難の仕方や注意点について担任の先生から指導を受けましたが、避難訓練の日時は知らされていませんでした。休み時間ですので、子どもたちは運動場で遊んでいたりと、図書室や教室にいたりした時に緊急地震速報が流れて、初めて避難訓練が始まったことが分かりました。それでも、多くの子どもたちはそれぞれの場所に適した一次避難ができたようです。また、ハンドマイクによる二次避難の指示が出ると、駆けつけた教師の指示に従い、運動場の集合場所まで整然と避難することができました。今回は、教師側のねらいとして「逃げ遅れた児童を捜索し救助する」という訓練も兼ねていて、2人の先生に逃げ遅れた児童の救助に向かってもらいました。児童は足を骨折（という想定）していましたが、担架を使って無事救出することができました。1月3日には、熊本県で震度6弱の地震が起きました。南海トラフによる地震もいつ起こってもおかしくないといわれています。ご家庭でも地震について話題にしてみてください。



地震は予測不能！
今起きるかもしれないぞ！

道徳の授業って難しいな！ <1/10 校内授業力向上研修>

今年度より道徳は、「特別の教科」として教科書が作られ、文章で評価をすることになりました。また、授業の中身も資料の登場人物の心情を理解することが中心の「読む道徳」から、道徳的な課題を一人一人の児童が自分自身の問題と捉え、課題に向き合う「考える道徳」、「議論する道徳」へと転換が図られています。現在、担任の先生は試行錯誤しながら授業を進めています。そのため、お互いの道徳の授業を見合う機会を作り、良いところを吸収して授業力が向上するように研修を進めています。



よろしくお願ひします！ <1/10 「子ども110番の家」へのあいさつ>

2学期末にお知らせしたように、「子ども110番の家」へのあいさつと場所の確認をしました。下校時に通学班ごとに担当する110番の家を訪問し、あいさつをしてお礼状を渡しました。今回の110番の家の見直しにより、子どもたちにとって110番の家が身近な存在となり、緊急時に役立つことを願っています。110番の家を示すカラーコーンが、年度内には市教委より110番の家に配付されることになっています。案内図と合わせてご確認いただくとよいと思います。

